

令和3年度指定障害福祉サービス事業所等
集団指導（講習）

感染症対策

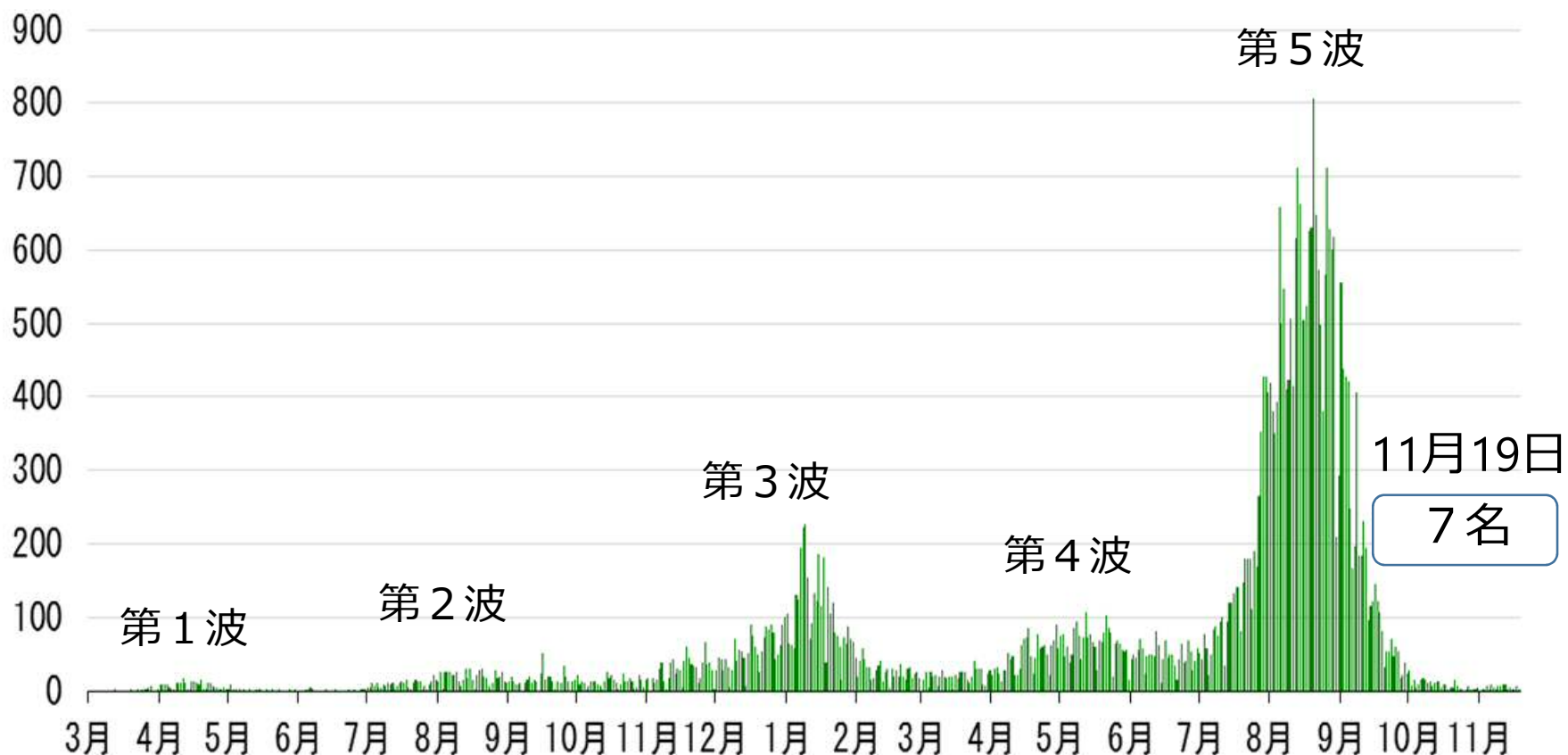
～これからの新型コロナの対策は～

川崎市健康福祉局保健所感染症対策課
感染管理認定看護師
駒場 瑠美子



新型コロナウイルス陽性者数の推移

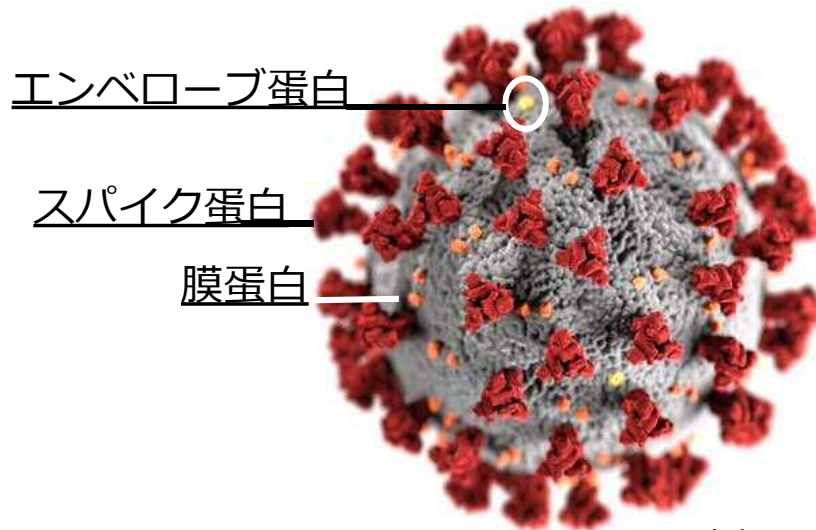
川崎市 陽性者数（発表日別）



11月以降、1日10名以下の低水準を維持



新型コロナウイルスとは



CDC Image Libraryより

エンベローブウイルス

汚染した環境方面や物体に触れることで感染する可能性はあるが、リスクは低い

洗浄剤に含まれる界面活性剤やアルコールに接触すると、急速に分解する。
(感染力が失われる)

ウイルスの変異

ウイルスは細菌とは異なり自力では増殖できない、そのためヒトや動物など他の生物の細胞の中に侵入し、ウイルスの遺伝子をコピーして増えていく。

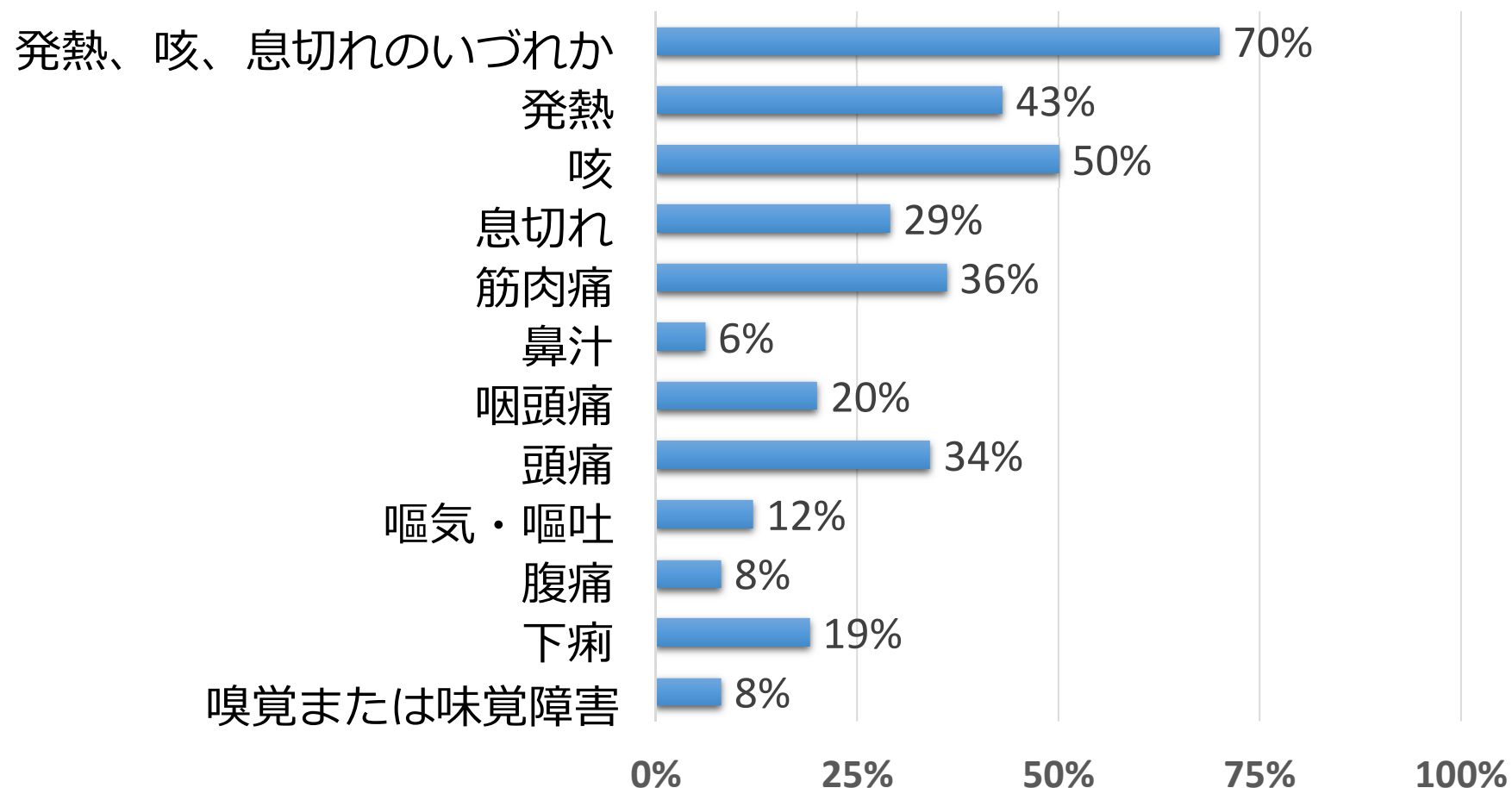
ウイルスはヒトからヒトに感染を広げるなかで少しずつ変異し、(遺伝情報を受け持つRNAと呼ばれる物質の配列にごく小さなミスが起こる) この変異したウイルスが変異株である。

<ウイルスの性質に変化>

- ① 感染の広がりやすさ (伝播性)
- ② 引き起こされる病気の重さ (病毒性)
- ③ ワクチンの効果の減弱化 (免疫逃避)



新型コロナウイルス感染症の症状



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き第5.3版より

臨床症状はインフルエンザや感冒に似ているが、嗅覚または味覚障害のある患者が特徴的



新型コロナ感染症の後遺症

- 4人に1人が半年後も何らかの症状がある
- 急性期の症状は半年後までにほとんどの人で消失する
- 記憶力低下・集中力低下は長期間持続しやすい
- 女性の方が倦怠感、味覚・嗅覚障害、脱毛が出現しやすい

	6か月後	12か月後
少なくとも1つ以上の症状	26.3%	8.8%

	6か月後	12か月後
だるさ	6.6%	3.1%
嗅覚障害	7.7%	1.1%
咳	2.4%	1.1%
息切れ	3.9%	1.5%
味覚障害	3.5%	0.4%

	6か月後	12か月後
記憶力低下	11.4%	5.5%
集中力低下	9.8%	4.8%
抑うつ	8.1%	3.3%
脱毛	3.1%	0.4%



重症化のリスク因子

重症化のリスク因子	評価中の要注意な基礎疾患など
<ul style="list-style-type: none">○ 65歳以上の高齢者○ 慢性閉塞性肺疾患○ 慢性腎臓病○ 2型糖尿病○ 高血圧○ 脂質異常症○ 心血管疾患○ 肥満（BMI30以上）○ 喫煙○ 固形臓器移植後の免疫不全○ 妊娠後期	<ul style="list-style-type: none">○ ステロイドや生物学的製剤の使用○ HIV感染症（特にCD4 <200 /μL）



いつ感染が起こるの？



感染

潜伏期
感染～発病まで
5日程度
(1～14日)



発病



感染性消失

特に感染力が強い期間 7～10日
(発病日前2日～発病後数日)

発病しない人
(無症状)
20～40%

発病する人
(症候性)
60～80%

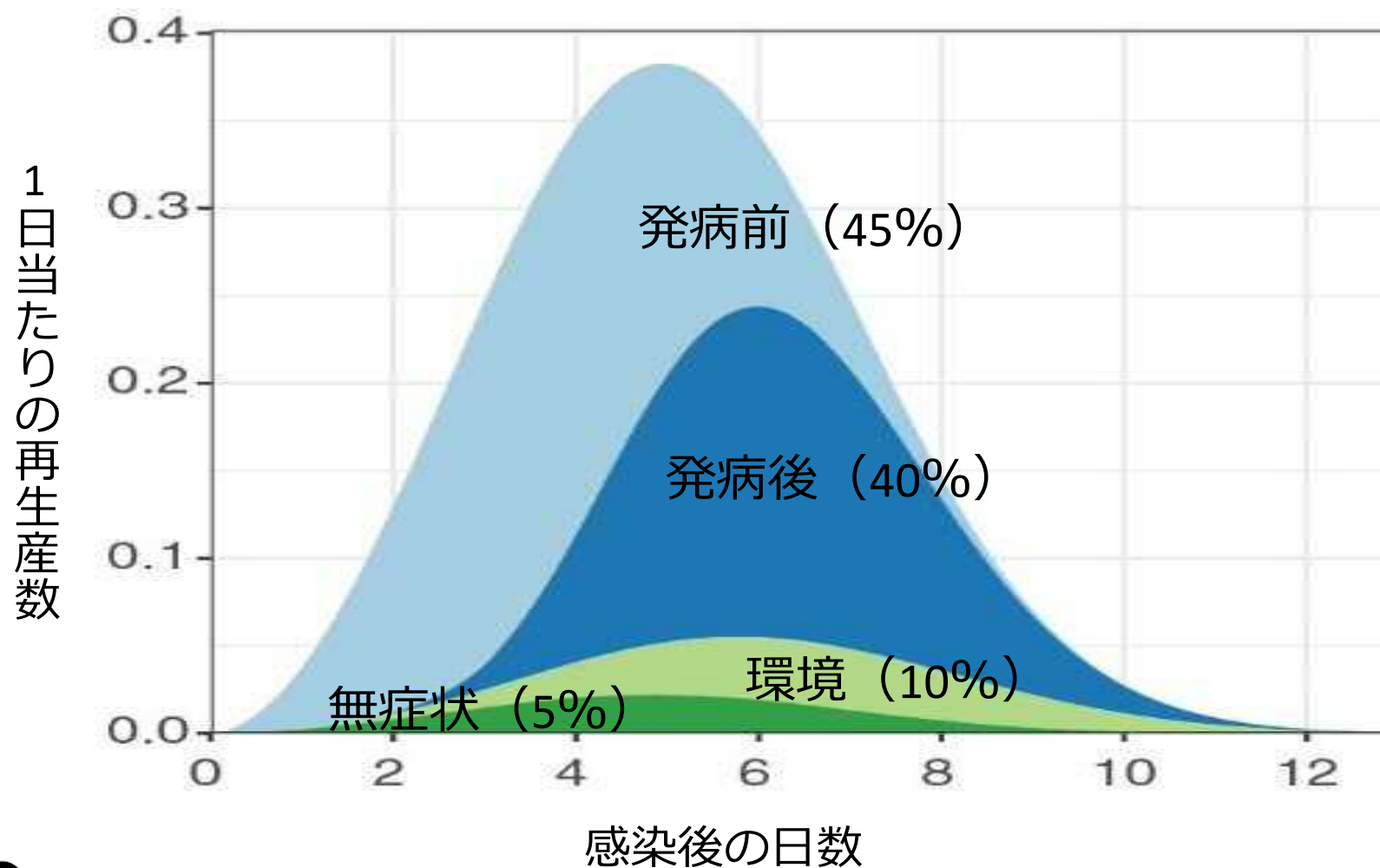


無症状の感染者の割合は

	無症状	症状あり
子ども 0～18歳	47%	53%
成人 19～59歳	32%	68%
高齢者 60歳以上	20%	80%



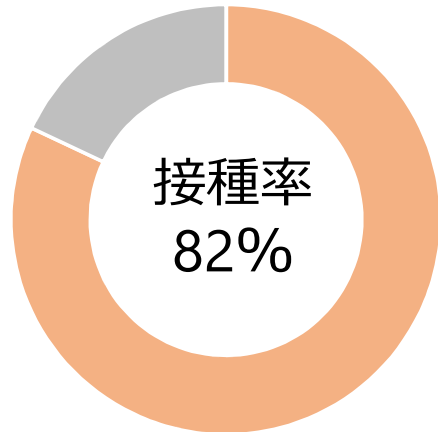
感染リスクの割合



発病前に感染させるリスク高いな、無症状の人からも感染するな。厄介なウイルスだな

ワクチン接種状況 川崎市

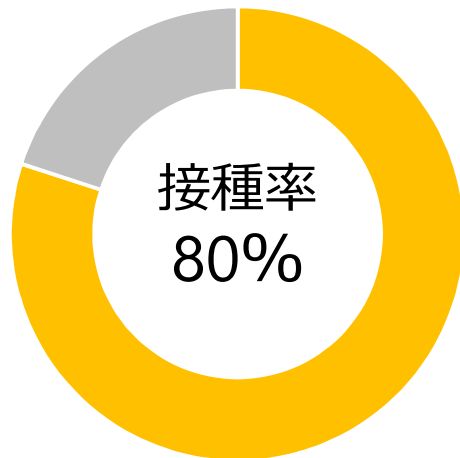
＜全対象者の接種率＞



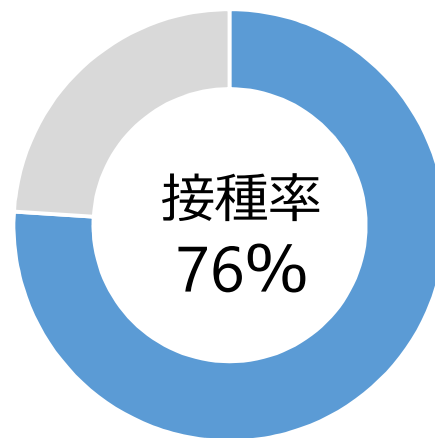
11月22日現在

高い接種率です

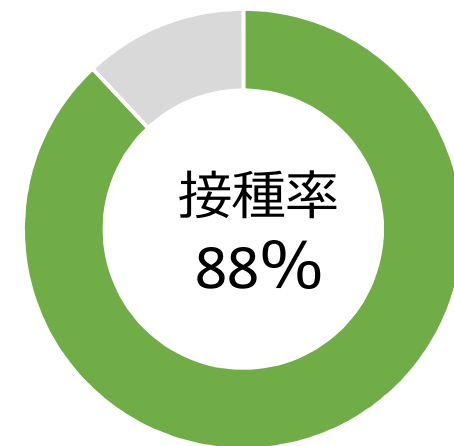
＜療育手帳所持者＞



＜精神障害者保健
福祉手帳所持者＞



＜身障手帳所持者＞



11月22日現在



ワクチンの効果は

- 高齢者や持病のある人にも十分な免疫が得られる
- 感染予防効果は2回目接種後からしばらくの間は80～90%と高く維持される
- 感染予防効果は時間とともに徐々に低下し、半年後には20%にまで落ちる
- 重症化を防ぐ効果は少なくとも半年以上保たれている



ファイザー社のmRNAワクチン接種後の調査より

DOI: 10.1056/NEJMoa2114114より



ブレイクスルー感染

- ワクチン接種完了後2週間以降におこる感染
- 感染しても症状が比較的軽い、または無症状のため発見が遅れる恐れがある。
- 他に感染させる力は変わらない。
- 感染予防、発症予防は低下しても重症化を防ぐ効果は高い。 しかし、100%ではない。



軽い咳など、いつもと違う症状があれば、施設等では速やかに医師に相談



ワクチン接種後でもこれまでどおりの感染対策を



追加接種は（3回目のワクチン）



Google 提供

検索

検索の使い方

川崎市のホームページに掲載されています。

【追加接種】新型コロナワクチンに関する一般的な情報

実施期間：令和3年12月1日～令和4年9月30日

対象者：2回接種済みの方で、接種日に18歳以上

接種間隔・回数：2回目接種から原則8か月以上の間隔をおいて、
1回の追加接種

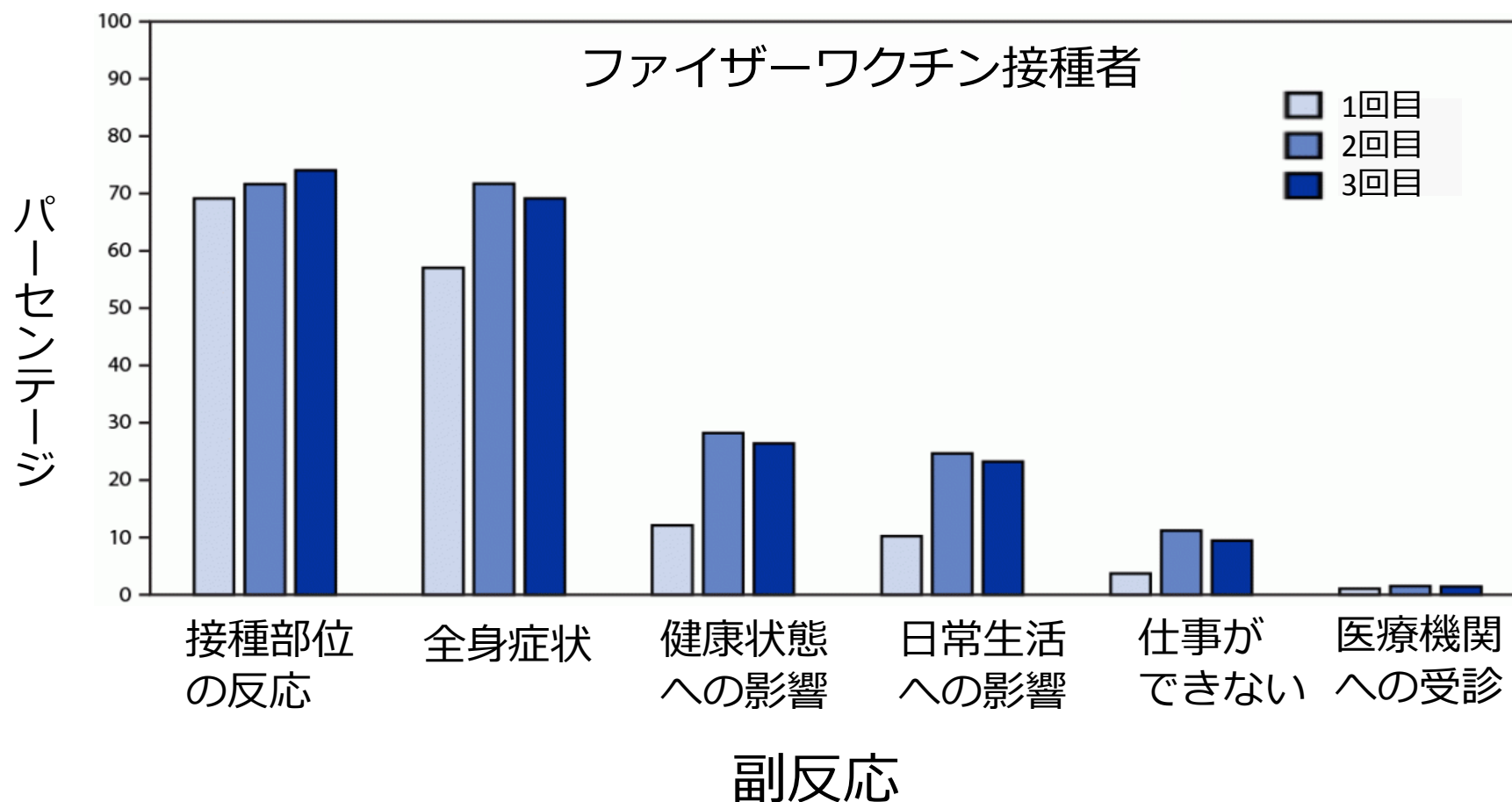
追加接種の接種券の発送等のスケジュール

2回目接種を受けた時期	追加接種の可能な時期	発送券の発送予定時期
令和3年4月まで	令和3年12月以降	令和3年11月19日
令和3年5月	令和4年1月以降	令和3年12月
令和3年6月	令和4年2月以降	令和4年1月
令和3年7月	令和4年3月以降	令和4年2月
令和3年8月	令和4年4月以降	令和4年3月



追加接種の副反応は

2回目と大きく変わらない



これからの対策は

変異株が出現しても、
新型コロナウイルスであることには変わりはない

- ワクチンは有効（重症化予防は有効だろう）
 ワクチンだけで流行は阻止できない
- これまでの感染予防策は有効
- 感染しやすい条件は変わらない



基本的な感染予防は継続

- マスク着用
- 距離
- 換気
- 手指衛生
- 三密回避



マスク装着のポイント

- 1 人と話すときや咳が出るときは、装着する食事のときは、会話しない。
- 2 マスクは正しく装着する

マスクを使う際の注意点

- ・ **マスクは、鼻から顎にかけて覆うようにつける。**
- ・ 鼻が出たり、顎だけ覆うような使い方はしない。
- ・ **マスクの表面、内側はどちらも汚れている。**
- ・ マスクをつけている時、外すときは、**表面を触らない。**
- ・ **外した後は、すぐに手指衛生をする。**
- ・ マスクで覆われていない顔の部分も汚染している。
- ・ マスクは、一度外したら廃棄し再利用しない。
- ・ マスクは、**テーブルなどに置かない。**



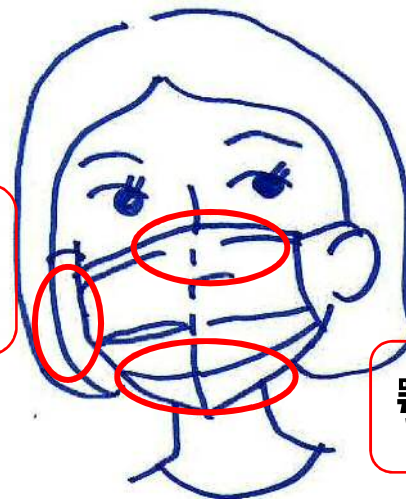
マスクは正しくつけてこそ効果がある

- 利用者さんにも可能な限りマスクをつけてもらう。
- マスクの「素材」と「つけ方」で効果が変わる。
- 施設内では、できるだけ不織布マスク（サージカルマスク）を着用することが推奨される。

三層構造とフィルター使用に加え、ノーズフィット（ワイヤー）とプリーツがあることで、顔にフィットしやすい形状



顔面のすき間に
注意する



ノーズワイヤーを折り
曲げて顔の形にフィッ
トさせる

顎の下まで覆う



平常時からの予防・対策が重要！

- ・ マニュアル作成
- ・ 手洗い、手指消毒の徹底
- ・ ワクチン接種
- ・ 清掃
- ・ 入居者の健康管理
- ・ 職員同士の連携
- ・ 職員研修



自施設の感染対策マニュアルはありますか？

□ 作成されているけど、自施設に沿ったマニュアルになっていますか？

- ・施設によって構造や備品、入所者数、職員数は違っていませんか

□ 陽性者が出たときの具体的なマニュアルを作成し、周知していますか？

- ・レッドゾーンからリネンや食器などを持ち出す場合の方法（ビニール袋を活用するなど）
- ・用具の消毒（どこで、だれが、どのように洗浄、消毒を行うのか）
- ・防護具の脱着の方法（表示できるようにしておく）

□ マニュアルは更新していますか？

具体的で日頃から実践でき、周知できていることが大事 

手指衛生

手指衛生は、接触感染予防の最も効率的・効果的な感染対策です。

手指衛生が必要な場面



- ① 手指に目に見える汚れや、体液・血液などが手に付いた
- ② 食事の前やトイレの後
- ③ 下痢や嘔吐した場合（処置後）



- ① 入居者に触れる前、触れた後
- ② 清潔操作（食事介助、投薬介助など）の前
- ③ 体液、排泄物、傷の被覆材に触れた後で手指に肉眼的汚染を認めない場合（手袋を脱いだ後）
- ④ 入居者周囲の環境に触れた後（ベッド周囲から離れる時）






https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15758.html



感染対策マニュアル・業務継続ガイドライン等 生涯福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策 マニュアルについて

障害福祉サービス施設・事業所職員の感染症への対応力向上を目的として、必要な感染症の知識や対応方法等をまとめた「障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策マニュアル」を作成しました。障害福祉サービス施設・事業所でご活用ください。

- ▶  入所系マニュアル〔PDF形式：3,144KB〕
- ▶  通所系マニュアル〔PDF形式：2,589KB〕
- ▶  訪問系マニュアル〔PDF形式：2,546KB〕



感染予防と活動のバランス

- ワクチン接種の推進・啓発
- 体調不良時
 - すぐに検査、受診
 - 休みやすい体制
- 基本的な感染予防策の継続
 - 定期的な研修、訓練
- 流行状況に応じた段階的な緩和
 - 面会、外出：小人数、分散から
 - ディサービス、通所
 - ワクチン接種歴や検査の活用



新型コロナウイルス感染症だけでなく、他の感染症にも注意しましょう

施設等で集団感染しやすい感染症

- 新型コロナウイルス感染症
- インフルエンザ
- 腸管出血性大腸菌感染症
- ノロウイルス感染症
- 結核
- 疥癬 など

日頃から標準予防策を含む感染対策の継続

